

## ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)

群馬県前橋市元総社町七三一五

TEL 027・2555・3434

FAX 027・2555・3435

http://www.neues-asahi.jp

ノイエスの国道沿いのガラスにカタツムリが一匹しつかりとはりついでいました。真夏のような猛暑が続いています。カタツムリを気の毒に思っ水をかけてあげましたが、今日も相変わらずガラスにびつたりいたので、ノイエス脇の緑のある場所に移動してあげました。

数年前までは、日差しの強さの中でも身体を虫干しでもするような気持ちの良さがありました。最近ではちよつぱり暑さが辛いなど感じるようになりました。異常気象のせいなのか年齢のせいなのか、とにかく七、八月に向けて体調管理をしないと体調を崩しかねないようです。十分な水分補給とバランスの整った食事と良質の睡眠と考えています。毎日の生活の中でなかなか難しいことです。

ラジオ体操や散歩を取り入れたりする「プラス」の生活習慣。逆に、オーバーワークになりやすい人はクールダウン出来る「マイナス」の生活習慣を心がけることで多少は改善されるかもしれません。

東京都美術館で開催されました「生誕三〇〇年 若冲展」は大盛況、大混雑のうちに終了したようです。

伊藤若冲は、江戸中期に京都で活躍した絵師で「釈迦三尊像」三幅(相国寺)や「動植綵絵」三十幅(宮内庁三の丸尚蔵館)をはじめ、代表作八〇点が展示されました。今回は、上京出来ず少しは心残りですが、NHKであらゆる角度から「若冲」についての番組を制作してくれたので、人間若冲について、また技法や作品についての知識を得ることが出来ました。天明の大火や自然災害も多かった時代に独自の画法を生みだし、緻密な描写や高度のテクニクで多くの作品を残しました。「千載具眼の徒を俟つ」と自分の作品が千年も経てば理解されるだろうと。言い残したとか。生誕三〇〇年でこの状況に本人は領き、さぞかし驚いていることでしょう。また、大阪豊中にある西福寺にある「仙人掌群鶏図」(さぼてんぐんけいず)は、天明の大火直後に描かれたもので、その裏側に水墨画で池に淋しく朽ちた蓮があり、そこに新芽がすくつと立っている。それは、若冲が京都の再生を願う心情が現れているのでは。という推測に感銘を受け、現在でも東日本大震災で多くの命が失われた、その鎮魂を作品として制作している作家と重なるような気がしました。

いつの時代でも、作家がテーマとする視点には深い想いと、それを画面に表現する独自の技術や才能、そして強い精神力、忍耐力、持続力が心引かれる作品を作り出すのでしょうか。

心を魅了する作品とは。改めて考えることとなりました。(武藤)

## ノイエス朝日(展覧会)のご案内

## 第23回 油彩画グループ

## 金曜会展

会期 六月四日(土)～六日(月)

午前十時～午後五時

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

荒井 誠・桂木 淑子・塩谷 充代  
石原 明子・久保田和子・角田 邦子  
岡本美智子・桑原 榮子・菅居 衛

賛助出品 島崎庸夫先生

## 第6回 群馬工芸美術会五月展 (企画)

会期 六月十一日(土)～六月十九日(日)

午前十時～午後五時三十分

(最終日は午後五時終了)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2

ドライフラワー f o o  
フラワー サマー

会期 六月二十一日(火)～二十六日(日)

午前十時～午後五時

(最終日は午後四時終了)

会場 ノイエス朝日 スペース1・2



## 〈県内のお知らせ〉

群馬交響楽団創立70周年映画

飯塚俊男監督(前橋出身) 作品

「蝶々さん群馬にはばたく」完成記念

音楽と映画の集い in 前橋

とき 六月十日(金) 十八時三十分開会

映画上映(71分)

二十時 コンサート

ところ 前橋テルサホール

前売り券 二〇〇〇円(全席自由)

問い合わせ先 027・2522・2261

(群馬共同映画社)

\*ノイエス朝日でチケットを取り扱っています。

## ノイエスに集う人々

ここ一、二か月、グループ展などがあり、企画展ではお会いすることのなかった多くの人々とお話をする機会を得ました。また、県内外で活躍している作家の皆様も多数ご来廊いただき近作や美術界の状況などをお聞きすることもできました。ノイエスのスタッフのようにご協力いただいている方もいて何より心強いことです。

個展をはじめ団体展、グループ展、また県や市で行われている企画展にも出来るだけ作品を見に出かけていますが、フットワークを鍛えて行動範囲をもう少し広げたいものだと思います。

最近、初対面の方々とお話していると共通の友人関係を知ったり、不思議な「縁」のようなものを感じます。

「人」と「人」の結びつきとは、いったい何だろうと日々、現実の生活のステージとは少し違った所で結びついている、そんな感覚が奇妙でもあり、また心地よいとも思える日々です。ノイエスに集う人々にも、そんなホッとされる空気を持ち帰っていただければと思います。

